

2010在日朝鮮人歴史・人権月間 第2回全国実行委員会

*ここで使用する「朝鮮」とは南北朝鮮全体を包括するものであり現在の国籍に限定されない概念である。

日時：2010年 3月15日（月）

午後2時～4時 場所：総評会館 501号室

【在日朝鮮人歴史・人権週間の趣旨】

2006年、国連の人種主義、人種差別、外国人嫌悪、関連する不寛容の現代的諸形態に関する報告者。「最も甚大な表れ方をしているのは文化的・歴史的性質を有する差別である。」「コリアン・中国人コミュニティについては、こうしたマイノリティに対する差別の歴史的・文化的根深さが日本では認識されていない。」(D・ディエン 国連特別報告者「日本公式筋問」2006.1. 報告書・反差別国際運動日本委員会訳)

在日朝鮮人の人権問題は文化的・歴史的性質を有しており、約一世紀に及ぶ歴史を知り、人権の視点で検証する戦後初めてのとり組。2007年から始まり本年は4年目となる。

【2010年 各地での準備状況】

【全国集会・福岡】 9/18～19開催予定

- 2009.12/26 福岡で予備会議（3団体）
- 2010.2/3 福岡説明会（15団体）
- 3/9 福岡実行委員会準備会（6団体）
- 4/14 福岡実行委員会結成予定

【関西(西日本)集会・奈良】 4/24開催

- 2010 1/16 奈良で予備会議（2団体）
- 2/18 奈良事務局会議（4団体）
- 2/26 実行委員会結成(12団体)
- 3/12 第2回実行委員会

【第2回実行委員会の討議内容】

全国集会および関西（西日本集会）の報告および全国集会（福岡）の運営内容確認

2010テーマ「韓国併合」100年今こそ平和と友好に向けて * 前回は清水共同代表から提案があった「包括的及び具体的獲得目標」について論議し確認する。

リーフレット（最終案）検討等



主催：在日朝鮮人歴史・人権週間 全国実行委員会

共同代表：清水澄子（平和フォーラム副代表）、原田章弘（朝鮮人強制連行真相調査団日本人側共同代表）、床井 茂（在日朝鮮人人権セミナー代表）、高德 羽（調査団朝鮮人側中央本部代表）、柳 光 守（在日本朝鮮人人権協会中央本部顧問）
主な賛同団体：平和フォーラム、自治労、部落解放同盟中央本部、曹洞宗、在日本朝鮮青年同盟、在日本朝鮮留学生同盟、在日本朝鮮仏教徒協会、タラワ・マキンウリ同胞犠牲者遺族会

事務局団体：平和フォーラム、アイ(I)女性会議、朝鮮人強制連行真相調査団。

連絡先（大阪）空野佳弘法律事務所 大阪市北区西天満6-7-4

T 06-6361-5486

（東京）平和フォーラム 東京都千代田区神田駿河台3-2-11

T 03-5289-8222